

# 市政を問う!! 一般質問

9月定例会の一般質問は、12日、13日の両日行われ、8名の議員が市政各般にわたり行われました。

一般質問の原稿は、各発言議員が作成しています。



今井 伸治  
議員

**問① 北陸新幹線若狭ルート早期実現に向けて。**

答 北陸新幹線は、国土はもとより福井県の均衡ある発展と、北陸関西の一体的な振興を図る上で重要な国家プロジェクトであり、特に若狭ルートによる整備は、本市や嶺南地域の発展にとって欠くことが出来ない。昭和48年の整備計画通り、小浜市付近を經由して大阪を結ぶフル規格による若狭ルート実現を、嶺南市町・議会や経済界をはじめとする各種団体、及び京都府亀岡市等とも連携を図って強力に運動していく。

**問② 28災に対する啓蒙は。**

答 来年は昭和28年9月に発生した台風13号の災禍から60年にあたる。死亡行方不明42名、家屋の流失134棟、全半壊739棟、浸水3,055棟、罹災者数21,780人、堤防決壊30数か所、土砂災害300数か所に及ぶ大災害を忘れることなく、後世に伝えていくことは大変重要である。来年度には若狭消防組合等と連携して、市政広報での特集やチャンネルOを利用した防災に関する普及啓発活動を行っていく。



藤田 靖人  
議員

**問① 災害時の避難路の確保といった交通インフラへの関心が高まっている。現在の取り組み状況や課題について問う。**

答 琵琶湖若狭湾快速鉄道については、京阪神地域との連携強化、広域ネットワークの形成に欠かせない重要な鉄道であり、地域住民の長年の悲願でもある。この鉄道は災害時における避難鉄道としての機能も有すると考えている。事業化については、事業主体や財源、収支採算性等多くの課題があり、嶺南地域鉄道事業化検討協議会において十

分協議するよう働きかけていく。今後も早期の事業化に向けて、積極的に取り組んでまいりたい。

**問② 放置家屋について、これから増えていく可能性のある空家への対応など。**

答 空家の管理については基本的には所有者の責任であると考えている。ただ、人口減少に伴う空家増加と、トラブルが予想されるため、県および県内市町が参加をしている空き家対策市町連絡調整会議等の意見を参考に対応策を検討していきたい。



下中 雅之  
議員

**問① 市長が描こうとする協働のまちづくりとは。**

答 行政主導のまちづくりから脱却し、市民と行政がお互いを認め、信頼する関係を築き知恵を絞り、協働してまちづくりに取り組んでいかなければならないと考えている。

**問② 今後、社会資本の老朽化も進んでいくが、市で管理する道路や橋梁の点検、補修計画について問う。**

答 道路は嘱託職員が日々パトロールを実施し、通行の安全確認に努めている。橋梁については、平成22年度から15m以上の橋梁に

おいて点検を実施しており、その結果に基づき、平成24年度末には、長寿命化修繕計画を策定して計画的に修繕を行い、橋長15m未満の橋梁においても平成25年度より長寿化に向けた点検を実施する予定である。

**問③ 防災力を高める社会資本の整備と維持管理の考えについて問う。**

答 老朽化が進む社会資本を適切に維持管理する必要があるが、整備や維持管理には多額の費用をようするため、極力制御しながら効率的に実施していくことも重要である。



能登 恵子  
議員

**問① 「ワンディシェフ制度を使ったコミュニティ・カフェ」食を中心に、あらゆる世代や団体、個人を問わず集まれる場所づくりを提案する。三重県多気町の「高校生レストラン」の試みや国立・保谷の「こども・Cafe」鯖江市の「チャレンジファームから障害者の働く場と住民と一緒にチャレンジするこころの運営」等例をあげ、集客効果もあり関わる人たちの笑顔が輝いてた。食のまち小浜にこそ必要ではと問う。**

答 「夢無限大」感動おばまの協働の視点からは

素晴らしいと考えるが、具体的な相談があれば支援を検討していきたい。

**問② 「DV被害者の抱える問題点から」相談者は全国的に2倍以上増加。県下では、8倍近くも増加している中、小浜市への相談は少ない。複雑な問題を抱えている方への対応、研修ができていくのかを問う。**

答 個人情報管理の徹底を図り、DV被害者・加害者に適切な対応・秘密の保持・二次被害防止に取り組み、被害者が安心して相談できる体制づくりを務める。



池田 英之  
議員

**問① 広域連携のメリットと今後取り組むべき課題について、市長の所信は。**

答 スケールメリットを活かした事務の効率化や施設の維持管理のコスト削減等が期待され、防災対策をはじめ交通網整備・観光振興・文化振興など多岐にわたる。

**問② 将来的には広域連合の設立に向けた取り組みを検討するべきでは。**

答 広域連合も含め、新たな広域連携の仕組みや枠組みについて近隣市町と共に研究を進めていく。

**問③ 小浜・朽木・高島線は京都へ抜ける最短距離になる事から広域避難道路として整備できないか。**

答 広域交通網の整備強化と新たな産業・観光ルートとして一定の効果があると考えられ今後とも整備の必要性や効果を十分検証していくことが重要である。

**問④ 「三番の滝」を市の観光資源として整備出来ないか。**

答 地域の方々や関係団体等と相談させて頂きながら観光資源としての整備を検討したい。



三木 尚  
議員

**問① 企業誘致の専門職員を設けてはどうか（提案）**

答 停電時非常灯が点灯し自家発電機が作動する震度5以上で全職員が配備体制に移る。備蓄物資も最低限確保している公民館の耐震化は学校の終了後進めていく。

**問③ 市の水道ビジョンに掲げてある平成38年度の目標数字と市が県に出した河内川ダム事業の検討の中にある数値が大きく違っている。水を持ってくるため根拠なく無理に各水源井戸の能力を低く記載している節がある。**

市の水道ビジョンではH25から河内川ダムとの接続による送水管と浄水場の建設が始まり58億円もの巨費が利用者である市民にかかる。使用料が現行の2.5倍以上になる。現状100%充足している地下水が本当に不足するのか。ここに北川南川合わせて1日に175万トンの地下水が小浜湾に流れているというデータがある。1.3万トンで十分足りる量の140倍が流れている。

答 (市長) 重大な問題と認識している。公平な立場で地下水の量を調査し結論を出したい。

## 録画配信始めました!!

インターネットで本会議の録画配信が視聴できます。

(要ブロードバンド環境)

この機会にぜひご覧ください。

小浜市議会 |



## ケータイで

## 議会情報をGet!!



URL はここから →



宮崎 治宇蔵  
議員

**問① 大飯原発の安全対策について。**

答 県が6月に策定した原子力災害時の避難に関する暫定措置では、原発事故時の避難先を示している。大飯原発事故時に小浜市民が一斉避難した場合、目的地である越前市、鯖江市に避難が完了するまでには、約8時間30分かかるといいう結果になっている。

**問② 浄水場建設年度について。**

答 浄水場建設事業は、大きな事業費を伴った市民生活に大きな影響を与える一大プロジェクトと位置付けており、この事業を今後もスケジュール通りに進めていくのか、又見直すのか

を検討していきたい。

**問③ 保健福祉の拠点整備について。**

答 健康管理センターは、保健指導をはじめ、高齢者の介護予防教室など幅広い保健事業を展開する核となる施設であり、今後増改築も含め検討していきたい。

**問④ 東部地区の小学校統廃合問題について。**

答 長い年月に亘り人々の生活の営みを支えてきたコミュニティの土台を変えてしまうのではと懸念されることも認識している。

**問④ 木材利用方針の策定について。**

答 木材の利用拡大を図るため、検討していく。



松崎 圭一郎  
議員

旭座の復元について。

**問① 歴史的建造物は、貴重な文化遺産であって私たちに様々なイメージを喚起し「今」を豊かにしてくれます。然し乍、完全復元を目指す余りに、徒に多大の復元費用を注ぎ込む事は、決して市民の皆様の同意を得られるものではありません。例えば、外観は旧旭座其の物であったとしても、生きた文化財として、様々な用途に対応できる施設として、甦らせて頂く事を強く望みますが、どのようなお考えをお持ちですか。**

答 旧旭座は、生きた文化財としての復元が望まれており、様々な用途に対応できる施設として使用できるよう検討していきます。

拉致問題について。

**問② 10年目を迎えたこの時期に、従軍慰安婦問題や竹島問題で日韓の結束が乱れ、漁父の利を得てほくそ笑むのが北朝鮮、これは全て日本政府の弱腰外交が招いた結果だと思いますが、政府の動きは如何ですか。**

答 帰国された5人以外の拉致被害者の帰国は元より解決の糸口さえ見えていません。

# 総合振興協議会を開催

周辺の自治体と共通課題、懸案事項について協議する総合振興協議会がそれぞれ行われました。

◆小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会  
(6月28日)

その後、事業報告、事業計画等について協議し、原案のとおり決定いたしました。  
また、若狭町海士坂の嶺南地域有害鳥獣処理施設の現地視察も行われました。

今年度、役員改選で次のとおりを決まりました。

会長 三木議員 (小浜)  
副会長 霜中議員 (若狭)  
小島議員 (高島)  
小林議員 (若狭)  
梅村議員 (高島)

◆小浜市・若狭町総合振興協議会  
(8月21日)

◎観光誘客の現状と今後の取り組み  
◎広域交通網の整備について  
などについて意見交換が行われました。

◆小浜市・おおい町総合振興協議会  
(8月23日)

◎避難、防災体制の確立と整備について  
◎若狭西街道の復旧状況について  
◎観光振興について  
などについて意見交換が行われました。



## 議会改革に取り組んでいます

小浜市議会では、「開かれた議会」、「市民に身近な議会」を目指し、議会基本条例の制定に取り組んでいます。

11月には、基本条例の素案ができますので、それを市民の皆様に見ていただき、それについてのご意見を募集する「パブリックコメント」を実施します。

議会事務局や各公民館などで、素案の閲覧を予定していますので、ご覧の上、皆様のご意見をお聞かせください。

※開始時期はホームページなどでお知らせします

## 議会報告会を開催します

小浜市議会議員18名を3グループに分けて、議会報告会を開催します。内容は、9月定例会の報告をはじめ、安全協定の見直しや現在取り組んでいる議会改革などです。また、市民の皆様からの意見を市政に反映させるために意見交換会も実施します。多くの市民のご参加をお待ちしています。



と き 11月17日 (土) 19時～21時  
ところ 西津公民館  
久須夜交流センター (内外海)  
国富公民館

## あなたの写真、表紙にしませんか?

小浜市議会広報委員会では、年4回発行する議会だよりの表紙を市民の皆様から募集しています。

写真は未発表のもので、市内で撮影したものに限りです。詳しくは、市議会ホームページまたはお問い合わせください。

## 議会を傍聴しませんか

議会を傍聴する手続きは、市役所5階の議会事務局で、住所と氏名を書くだけです。身近な政治の世界を見てみませんか。

### 【12月定例会の予定】

11月29日 (木)	開 会	
12月12日 (水)	一般質問	今後、変更となる場合があります。
12月13日 (木)	一般質問	
12月21日 (金)	閉 会	



### 編集後記

去る7月、広報委員会で滋賀県湖南市・愛知県日進市の議会を視察し「議会だより」の編集について研修を行ってききました。

両議会ともに「議会だより」に力を入れており、大変勉強になりました。市民の皆様が、読みやすく、わかりやすいものにしていきたいと思います。ご意見・ご要望をお待ちしております。

(副委員長 小澤)